

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第23号
令和2年 9月 9日
文責：校長 大江律子

台風10号では、龍野小体育館も避難所となり、多くの方が避難されていました。熊本地震の時の避難とは違い、ソーシャルディスタンスでの避難となりました。予想より少し弱くなったということで、ほっと一安心したところです。7日(月)に校舎内外の確認と通学路をはじめとした校区の見回りを職員で実施しました。大きな被害はなかったと確認したところですが、ご家庭の様子はいかがですか。

今年は、まだ台風が来るという話も聞きます。是非、甲佐町のハザードマップを確認され、災害時にどのように避難するのか、ご家族で話し合わせてください。自分の命を守る行動を子どもの時から身につけることはとても大切なことです。よろしくお願いします。

愛校作業!とてもきれいになりました。～4, 5, 6年生ありがとう!

う!～

台風での大きな被害はありませんでしたが、龍野小学校は台風により木々や枝、葉っぱなどが散乱した状況でした。7日、職員でできることは作業したのですが、この木々等の片付けは難しい状況でした。そこで、4年生以上の子どもたちが愛校作業に取り組んでくれました。

4年生は、朝自習の時間に運動場の草引きをしてくれました。日頃はなかなか抜きにくい草ですが、台風のあとで、簡単に根から草を抜くことができました。4年生の子どもたちががんばって草を抜いてくれたことで、運動場がすっきりしました。

5、6年生は1時間目に愛校作業として取り組んでくれました。凌雲の森に落ちているたくさんの木切れ、玄関や校舎周り、体育館駐車場、学校近くの道路が木の枝や葉っぱなど台風で荒れ果てた状態でした。5、6年生が力を合わせて取り組んでくれたおかげで見違えるようにきれいになりました。本当に感謝です。

学校で取り組んでいる道徳教育の中で、「仕事に対して誇りをもち、働くことや社会に奉仕することの充実感を通して、働くことの意義を自覚し、進んで公共のために役立つこと」という勤労、公共の精神を学ぶ内容項目があります。3、4年生では、「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと」5、6年生は、「働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること」を考えることになっています。このことで、働くことの尊さを理解し、自分で自立して生きていける子どもたちを育てることを目指しています。

子どもたちは、まさにみんなのために、学校のためにがんばってくれました。進んで働いてくれた子

